

地域の未利用資源を活用した アップサイクルの取組とは？

2022年8月31日

長野県LFP 第1回研修会

LFP中央事務局コーディネーター
(有)仙台屋 代表取締役 小野寺正博

講義の目的

「アップサイクル」「エシカル」の意味をご存知ですか？



プロジェクトを深めるために・・・
言葉の意味を共通化しましょう

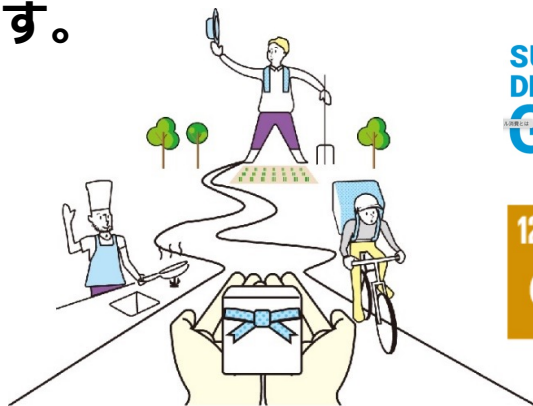
エシカルとは？

エシカル (ethical) とは、「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞です。
「法律などの縛りがなくても、みんなが正しい、公平だ、と思っていること」を示します。

近年、英語圏を中心に倫理的活動を「エシカル (ethical) ○○○○」と表現し、エシカル「倫理的=環境保全や社会貢献」という意味合いが強くなっています。

「エシカル消費」「エシカル商品」は、地球環境や、人、社会に対して配慮されたものを購入・消費したり、またそのような商品のことを指します。

そして、私たち一人一人が、社会的な課題に気づき、日々のお買物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみることに、これが、エシカル消費の第一歩です。



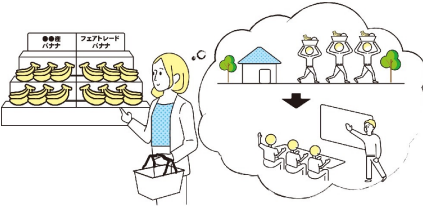
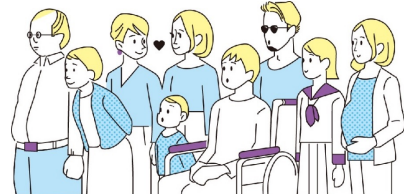
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) の
12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

エシカル消費・商品とは？

人・社会への配慮	地域への配慮	環境への配慮	みんなで 支え合う社会
人・社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人々が持続可能な生活を送れるようになります。	地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を「買う」ことは、地元を「応援する」ことにつながります。	地球環境の現状や問題を「自分には関係ない遠い話」と見過ごすのではなく、より良い未来に向かって、一歩を踏み出しましょう。	消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために、小さな行動を次世代へバトンとつないでゆく
			
・フェアトレード認証商品 ・売上金の一部が寄付につながる商品 ・障がい者支援につながる商品を選択するなど	・地産地消 ・被災地で作られたものを購入することで被災地を応援する ・伝統工芸品を購入するなど	・エコ商品を選ぶ ・マイバッグを使う ・資源保護の認証がある商品を購入する ・マイボトルを利用する ・食品ロス を減らす ・省エネLEDに交換する ・地域のルールに沿ったゴミの分別を徹底するなど	・買いだめ、買占めをしない ・必要な分だけ購入する ・今のことだけを考えず、未来への影響を考える ・海外で問題となっている社会的課題に目を向ける ・自分のことだけを考えず、相手のことを考えて行動する ・ユニバーサルデザイン ・ダイバーシティ（多様性の尊重等） など

アップサイクルとは？

アップサイクルとは？

不要になった物をそのまま活かしつつ、手を加えて新しい製品に作り変える。
廃棄物や不要になった製品を、より価値のある新しい製品に生まれ変わらせること。



アップサイクルとリメイクの違い

リメイクも元の製品の素材を生かして別のものに作り替えます。

アップサイクルは、作り変えた物の価値は元の素材よりも上がっているのに比べ、リメイクは価値が下がるものを作ることでもあります。

アップサイクル

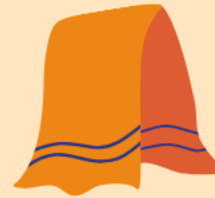
作り変えた物の価値は
元の素材よりも**上がる**。



流木で家具を作る

リメイク

価値が**下がる**ものを
作ることも含む。



古くなったタオルで雑巾を作る

アップサイクルとリユースの違い

リユースは、すでにあるものを再利用する考え方。

例えば牛乳瓶を回収して洗浄し、新たに使いまわすなどが該当します。

アップサイクルは「そのまま」ではなく、手を加えて違う製品を作り価値を高める方法です。

アップサイクル

「そのまま」ではなく
手を加えて違う製品を
作り価値を高める。



着なくなったジーンズでバッグを作る

リユース

すでにあるものを
「そのまま」再利用する。



フリマで不用品を別の人に譲る

アップサイクルとリサイクルの違い

リサイクルは、牛乳パックからトイレットペーパーをつくったりするなど、回収したものを一度資源に戻してから再生して製品を作ることです。

アップサイクルは、基本的に素材はそのまま活用します。リサイクルのように、再生のための資源化にかかるコストはありません。

アップサイクル

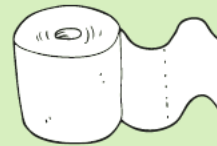
「**素材**」は**そのまま**活用。
再生のための資源化に
かかるコストは不要。



ホテルのシーツからTシャツを作る

リサイクル

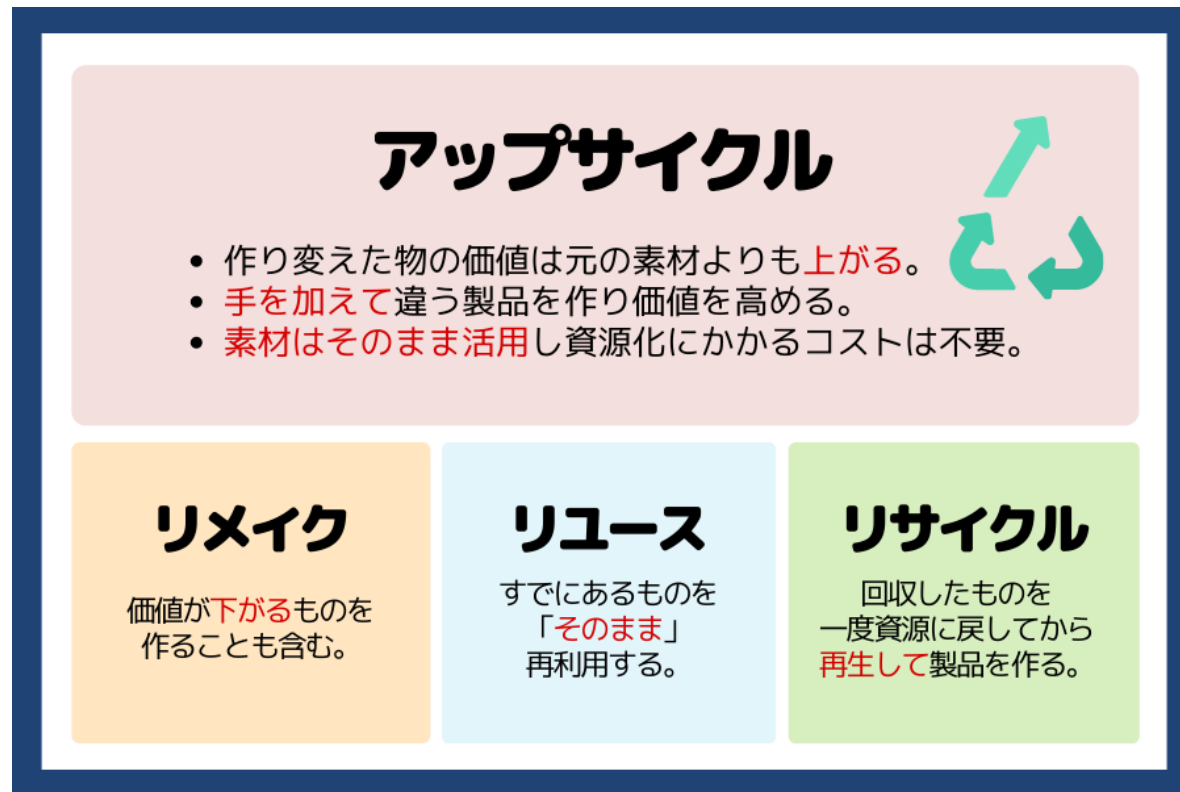
回収したものを
一度資源に戻してから
再生して製品を作る。



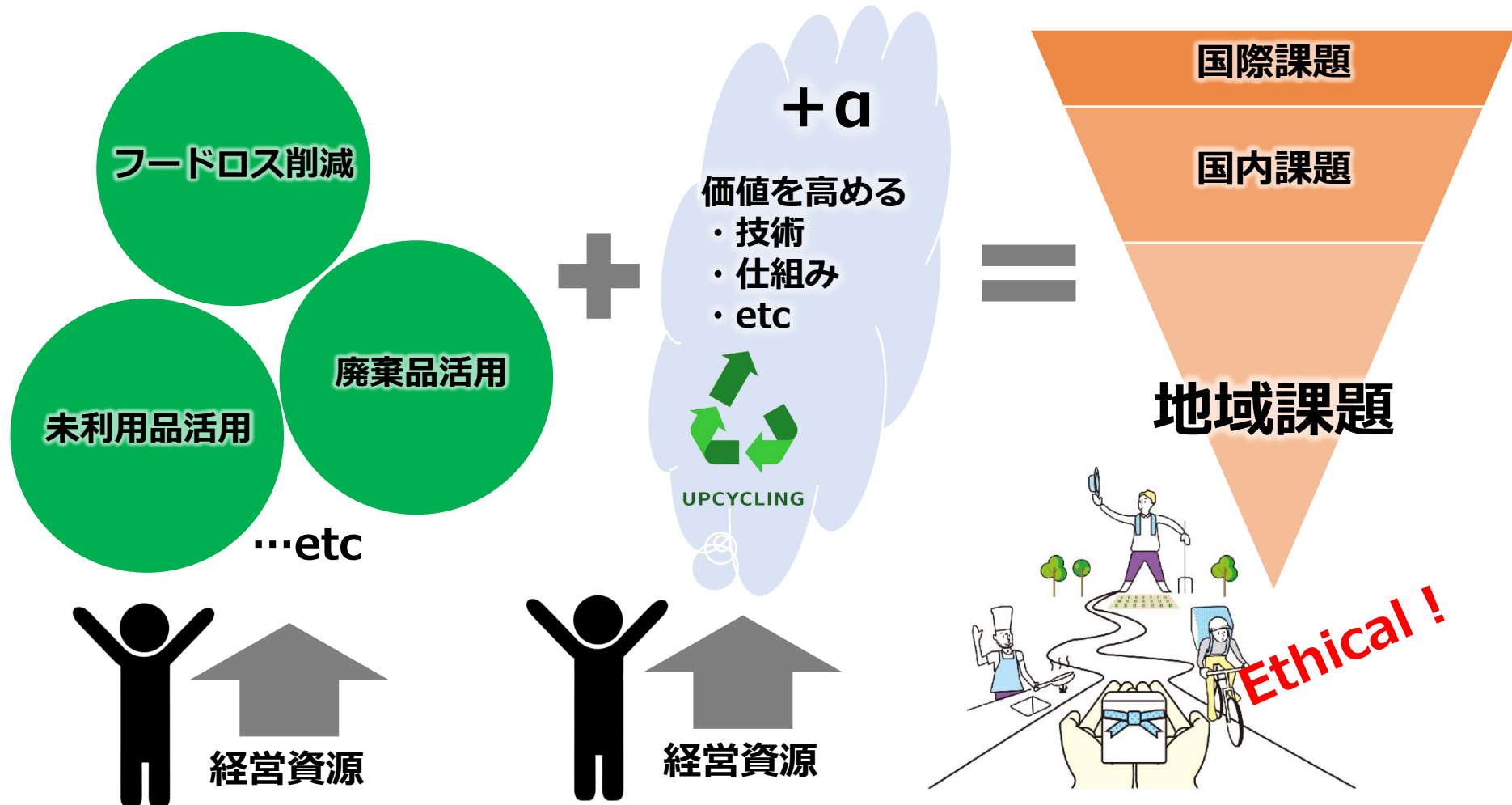
牛乳パックからトイレットペーパーを作る

アップサイクルとは？

不要になった物をそのまま活かしつつ、手を加えて新しい製品に作り変える。
廃棄物や不要になった製品を、より価値のある新しい製品に生まれ変わらせること。



長野県LFPが目指す アップサイクルの取り組みとは？



アップサイクルの取組事例

**神奈川県葉山 eat YOGA STUDIO（イート・ヨガ・スタジオ）
『GOOD CIRCLE Hayama』で葉山を活性化したい！**

https://readyfor.jp/projects/eatyoga_goodcircle

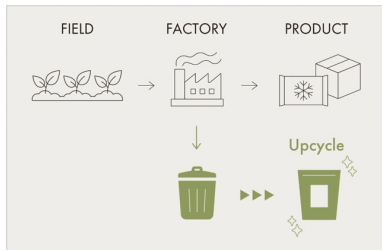


出典：eat YOGA STUDIO クラウドファンディングWebサイト

オイシックス : Upcycle by oisix

捨てるにはもったいない「ここも食べられるシリーズ」 副産物をアップサイクル「〇〇から生まれたシリーズ」

<https://upcyclebyoisix.jp/products>



捨てるにはもったいない
こども食べられるシリーズ



副産物をアップサイクル
〇〇から生まれたシリーズ



出典：オイシックス・ラ・大地株式会社 Webサイト「Upcycle by oisix」